

(様式6-1)事後評価シート

建設 部 道路建設 課

事業名		道路改築(国道・一般改築)		路河川名等	(国)406号				
番号	6	市町村名	長野市	箇所名(ふりがな)	百瀬(ももせ)～茂菅(もすげ)バイパス				
事業計画時の課題・背景及び事業経緯	国道406号は、大町市を起点とし長野市を通り、群馬県高崎市を終点とする主要幹線道路である。また、鬼無里・戸隠地区と長野市街地を結ぶ生活道路として、通勤通学、福祉医療を支える路線である。一方で本事業区間は幅員が狭く、カーブが連続し、落石の危険性も高く、本路線最大のネック箇所であった。このため地域からも抜本的な道路整備が求められ、昭和52年、バイパス整備による道路改築事業に着手し、平成21年度に完了した。								
事業目的	本事業はバイパスの整備により、人家連担、幅員狭小、連続屈曲等、本路線最大のネック箇所を解消することにより、集落内の通過交通を排除し、交通の安全確保、円滑化を図り、地域の生活を支えるとともに、産業、観光活動等の発展に寄与することを目的とした。								
事業概要	当初工期	S52～H20	費用対効果	1.1	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	最終工期	S52～H20	完了後経過年数	5	上段:当初/下段:最終	国庫	その他	県債	一般財源
	当初計画内容(主な工種)	道路改築工事 L=4,220m W=6.5(12.0)m 橋梁 4橋 トンネル 2箇所			14,040,000	7,020,000		5,616,000	1,404,000
	最終事業実績(主な工種)	道路改築工事 L=4,220m W=6.5(12.0)m 橋梁 4橋 トンネル 2箇所			12,510,000	6,255,000		5,004,000	1,251,000
事業期間の延長・短縮理由と分析	・各工区の供用開始時期は、概ね計画通りとなっている。								
事業費(予算)の増加・縮減理由と分析	・歩道の利用状況を踏まえ、歩道幅員を3.0mから2.0mに変更し、橋梁の主桁断面、トンネル断面の縮小を図った。 ・起点側湯ノ瀬橋～百瀬橋区間(L=1384m)は、暫定改良とし、完成型の改良を見送った。 上記により、事業費約5億円が縮減された。								
①事業効果の発現状況	事業効果の発現状況(A:目的を超えた達成 B:達成した C:概ね達成 D:達成したとはいえない)							評価	
	直接的効果(定量的・定性的)	<ul style="list-style-type: none"> ・バイパス整備により、区間の道路延長は約320m短縮し、走行速度は30km/hから40～50km/hに改善されるなど、時間短縮効果が得られている。 ・交通量は、5,400台から8,200台余りに増加。(S58センサス、H22センサスから) ・災害危険箇所の解消。(6箇所 法面点検要対策箇所:3箇所、防災カルテ監視:3箇所) ・災害による通行規制の解消(S62～平成15年の間に全面通行止2回、片側交互通行規制2回、整備後の通行規制はなし) 						A	
間接的効果(定量的・定性的)	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故(人身事故)件数の減少(整備前:2.18件/年→整備後:1.17件) ・合併した戸隠、鬼無里地区と長野市街地を結ぶ基幹道路の整備 ・公共交通(路線バス)の円滑な運行に寄与 ・救急搬送の時間短縮、患者への負担軽減に寄与 ・茂菅地区集落内の大型車交通がバイパスに転換されたことにより、騒音や振動が低減し、集落内の生活環境の改善に寄与している。 						A		
②事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化	事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化(A:環境がよくなった B:大きな影響なし C:影響が大きい)							評価	
	・茂菅地区集落内の大型車交通がバイパスに転換されたことにより、騒音や振動が低減し、集落内の生活環境の改善に寄与している。							A	
③施設の維持管理状況	施設の維持管理状況(A:地域の人たちの参加あり B:適切 C:やや不十分 D:不適切)							評価	
	<ul style="list-style-type: none"> ・地元地区により集落内の歩道除雪が行われている。 ・春と秋の年二回地元区において沿道美化活動が行われている。 							A	
④地域住民等の評価	地域住民等の評価(A:評価が高い B:中程度の評価 C:評価が低い)							評価	
	<ul style="list-style-type: none"> ・バイパス整備により、集落内を通過する大型車の交通量が減少し、交通環境が改善された。 ・落石等の災害危険箇所が解消され、安心して通行できるようになった。 ・救急車両の輸送時間が短縮し、患者への体の負担が減少した。(長野市消防局鬼無里分署) ・茂菅集落内の通過車両が減少し、路線バスの通行がスムーズになった。(路線バス運営会社) 							A	
⑤事業の主たる目的以外で地域社会への貢献状況	事業の主たる目的以外で地域社会への貢献状況(A:貢献度が高い B:貢献している C:特になし)							評価	
	・「戸隠高原」、「奥裾花峡」などの観光地へのアクセス道路として、観光産業の支援に寄与。							B	
改善措置の必要性	・当事業における改善措置は特になし。								
今後の取り組み及び同種事業への活用と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・起点側の未改良区間について、引き続き整備を進める。 ・長野市街地から当バイパスまでの一部線形不良区間の整備を望む声が寄せられており、整備のあり方について地元区と検討を重ねている。 								
部意見	交通の安全確保、円滑化などが図られ、事業目的は達成されており、地域の評価も高く、所定の事業効果が得られていると判断する。			行政改革課意見		交通の円滑化と安全性の向上が図られ、事業の目的を達成している。			

事業名	道路改築(国道・一般改築)		路河川名等	(国)406号	
番号	6	市町村名	長野市	箇所名(ふりがな)	百瀬(ももせ)～茂菅(もすげ)バイパス

【事業計画時の写真】



【事業完了後(現況)の写真】



整備前後のデータ比較

① 交通量(12時間交通量)

・5,404台/12h(S58調査) → 6,372台/12h(H22調査)
伸び率 1.18倍

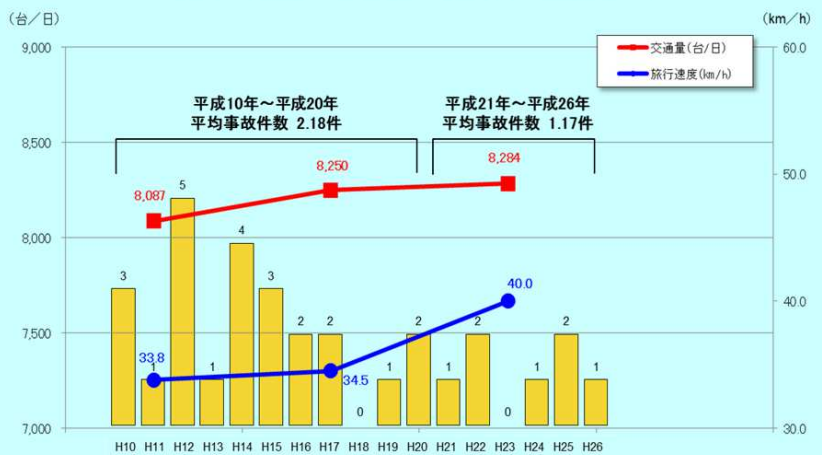
② 旅行速度(茂菅地区付近)

・混雑時 245km/h(S58調査) → 384km/h(H22調査) **改善率 1.56倍**
・非混雑時 338km/h(H11調査) → 400km/h(H22調査) **改善率 1.18倍**

③ 事故件数(人身事故)

・24件(H10～H20) → 7件(H21～H26)
2.18件/年 → 1.17件/年 **減少率 0.54倍**

(国)406号 長野市茂菅地点の交通量及び旅行速度の推移



整備後の平成21年～平成26年と平成10年～平成20年の10年間における平均事故発生件数を比較した結果、半減している。また、旅行速度は大幅に改善されている。